

TAKAMATSUプロジェクト~Make your dream take wings~

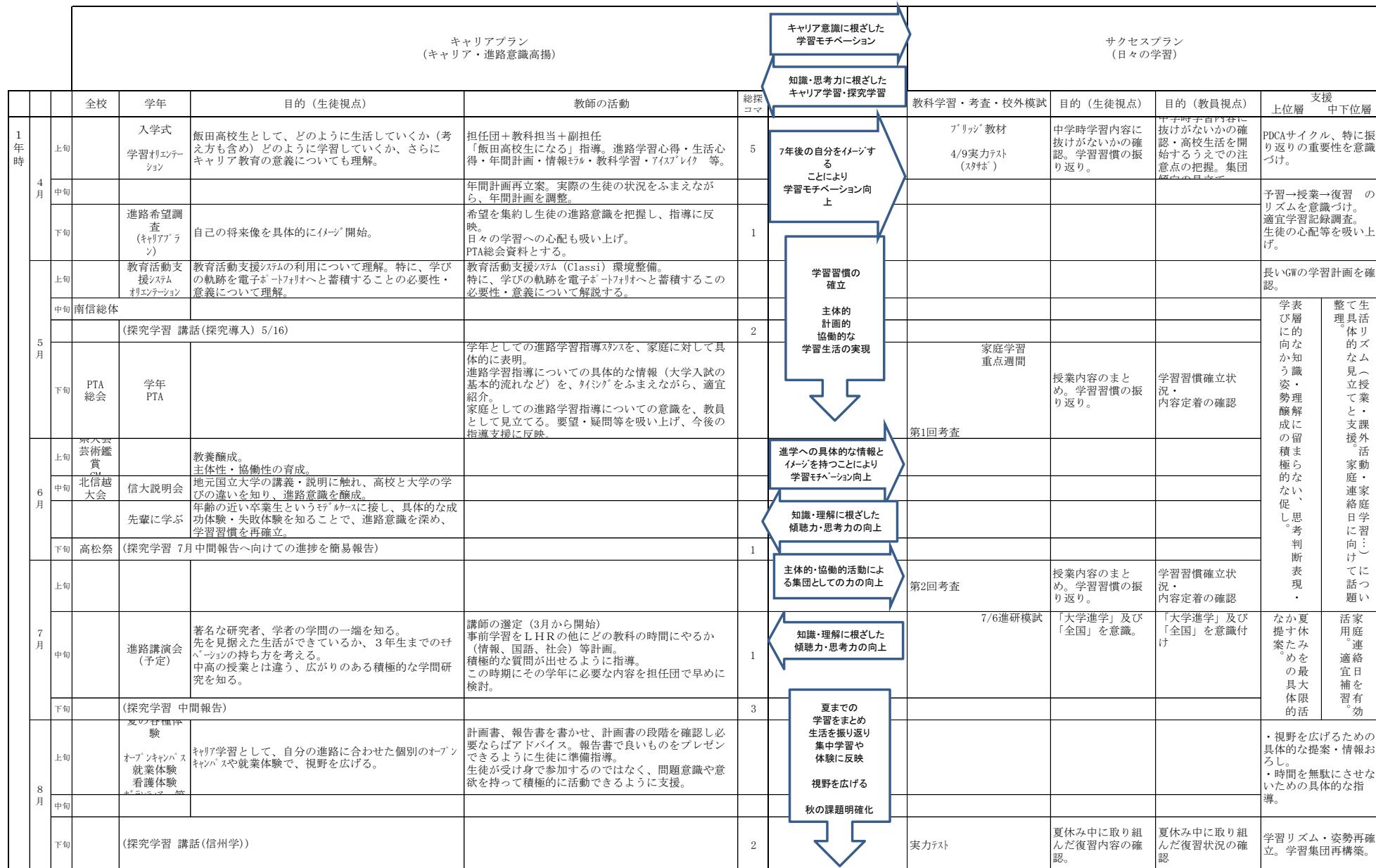
目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。

※キャリアプラン=進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン=学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。

（学力があってこそその進学、人間力があってこそその学力）

- ・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示&調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
 - ・職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
 - ・生徒には全ての活動について記録を取りさせていく。（校外活動、資格取得なども）

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。



*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

		キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)		カリキュラム (知識・思考力に根ざした キャリア学習・探究学習)		サクセスプラン (日々の学習)				
		全校	学年	目的 (生徒視点)	教師の活動	総探 コマ	教科学習・考查・校外模試	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	支援 上位層 中下位層
9月	上旬					2	第3回考查	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。 考査・文理選択・模試…と連続するペースを意識した指導。 各教科においても成果・課題を洗い出し、計画調整と指導への反映。 必要に応じて補習等も。 考査・模試については「復習・振り返り」の重要性を改めて確認。
	中旬	9/10 社会人講話		身近・地元で働く職業の方々の講話で職業観を涵養し、職業・大学選択に反映。 保護者・地域をキャリア教育へと巻き込み。	前半の半分で、1ヶ月で教科の力を通じて、保護者の中での話をしてくれる人・大学・企業関係者と交渉。	2	10/5スタボ 10/12 駿台HL模試	この半年の変化や、高校生の学習スタイルが身についているかを把握。	この半年の変化や、高校生の学習スタイルが身についているかを把握。	
	下旬	科目選択 説明会		2年時科目選択の知識・理解。 希望進路をふまえながら、建設的な選択へ。	科目選択と、それに連動する3年間・進路活動の見通しについて説明。 苦手ベースの消極的選択にならないよう、前向きな検討を指導。	1?	11/9進研模試	よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	
10月	上旬	CM		主体性・協働性の育成。						この半年の変化や、高校生の学習スタイルが身についているかを把握。 必要に応じて補習等も。 考査・模試については「復習・振り返り」の重要性を改めて確認。
	中旬	教育 懇談会		保護者とともに講演会を聴き、教養や職業観を醸成。		2				
	下旬	小論文演習		単なる作文ではない、小論文を書くことの初步を理解。	学習係、国語科を中心に1学期のうちに教材選定。 1回目の模試をこの時期(10~12月あたり)に実施する。必要があれば講演会も。	1	12/7GTEC	苦手教科の現状と克服のポイントを明確にする。	苦手教科の現状と克服のポイントを明確にする。	
11月	上旬			(探究学習 フィールドワーク)		2~4				生徒志 活に望 る。系 統 化 計 画 年 。後 進 家 か 学 庭 ら 先 連 を 絡 算 具 日 し 体 活 た 的 用 学 に 習 話 も 分 も 草 講 野 変 話 の 化 積 等 洗 を 極 も い き つ し づ 促 か 。チ 。に 要 教 し 学 員 た び と 意 直 し 識 して 変
	中旬									
	下旬									
12月	上旬	12/6金 大学模擬講義		大学模擬講義の受講により、大学での学びを体験し、学習意欲向上のきっかけとする。	前年度末に開催日時を決め、4月くらいに日程を決める。 進路希望調査の結果を受けて、コースの数と種類を決める。 飯田市の企画や大学のHPなどから模擬講義をやってくれる講師を探す(進路中心) 事前、事後のまとめをさせる。	2	第4回 考查	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。 英語四技能の力を測り、以後の学習の指針とする。外部試験の形態に慣れる。	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。 英語四技能の力を測り、以後の学習の指針とする。外部試験の形態に慣れる。	模試が連続し、かつセンター試験が行われているという好タイミングを最大限活用。各自の達成目標を意識・計画させ、その振り返りもしっかりとさせることとする。
	中旬	(探究学習 発表会)				3				
	下旬									
1月	上旬	慰靈式					1/11進研模試	1年時の学習内容の総チェック。春休みへの意識付け。	1年時の学習内容の総チェック。春休みへの意識付け。	促生成学 す 達 果 習 。自 課 リ 身 題 づ の ム C つ と A い そ を て の せ 洗 要 。い 学 出 び し 直 ・ し 気 分 づ 野 か の
	中旬	センター 試験					1/25 全統 or 駿台 模試			
	下旬									
2月	上旬									文理に分かれることの意味合いについて、過不足なく再確認。
	中旬	小論文 ワープ		テーマに基づいた小論文力の向上。	ワープの意義・ポイントを生徒に周知。 3年間という視点でも貴重な機会であることを意識づけ。	1	第5回考查			
	下旬	1年時キャリア 教育の まとめ		1年時に行ってきたことを振り返り、この1年間で将来に向けて何を考え行動してきたのかをまとめ、入学時と比較して将来像が具体化してきたか、それに向けて学習面などで準備を始めてきたなどを自己チェックする。	1年間のキャリア学習についてアンケート配信。集約した上で次年度の計画を調整。後進学年への引き継ぎ。					
3月	上旬	卒業式			3月~2年時マートへ向けた学習が効果的になるよう、3月特編授業を計画。					
	中旬	同窓会 講演会		同窓会講演会により、同窓会の支援と学校の歴史と伝統を感じつつ、進路意識の視野拡大。		2	学習合宿	学習に全力を注ぐという、個々の姿勢と集団の雰囲気の強化。新年度へのばね。	学習に全力を注ぐという、個々の姿勢と集団の雰囲気の強化。新年度へのばね。	
	下旬									